

蔽布の成聖祈禱

誦司輔

君や、祝讃せよ。

我等の神は恒に崇め讃めらる、今も何時も世世に。

アミン。

常套の始め

我等の神や光栄は爾に帰す、光栄は爾に帰す。
天の王慰むる者や、眞実の神、在らざる所なき者、満たざる所なき者や、
の寶藏なる者、生命を賜うの主や、來たりて我等の中に居り、我等を諸の
より潔くせよ、至善者や我等の靈を救い給え。

聖なる神、聖なる勇毅、聖なる常生の者や、我等を憐めよ。(三次)

光栄は父と子と聖神に帰す、今も何時も世世に、アミン。
天に在す我等の父や、願わくは爾の名は聖とせられ、爾の國は來たり、爾の旨
は天に行わるが如く地にも行われん、我が日用の糧を今日我等に與え給え、我等を
我等に債ある者を我等免すが如く、我等の債を免し給え、我等を誘に導か
ず、猶我等を凶悪より救い給え。

主憐めよ。(三次)

光栄は父と子と聖神に帰す、今も何時も世世に、アミン。

天に在す我等の父や、願わくは爾の名は聖とせられ、爾の國は來たり、爾の旨
は天に行わるが如く地にも行われん、我が日用の糧を今日我等に與え給え、我等を
我等に債ある者を我等免すが如く、我等の債を免し給え、我等を誘に導か
ず、猶我等を凶悪より救い給え。
蓋國と權能と光栄は爾父と子と聖神に帰す、今も何時も世世に。

アミン。

光栄は父と子と聖神に帰す、今も何時も世世に、アミン。
來たれ、我等の王神に叩拝せん。

アミン。

主憐めよ(三次)。

※(司祭は、エピタラヒリとフエロンを着けて、至聖所を出で、天門前の祭台上に
用意された聖水及び蔽布の前に立ち、炉儀して、始める。)

衆人に平安。
爾の神にも。
爾等の首を主に屈めよ。
主爾に。

主神父全能者や、爾はシナイ山に於いて、爾の僕律法者モイセイに会幕及び爾の聖所に用いる種々の飾物、蔽物、床布等を造るを命ぜし者なり、切に爾に祈る、其時是に降福を賜い、アアロンの手を以て聖にし、之を受け給いし如く、今も爾の聖神と我等罪人の手を以て是に降福して成聖を賜い、以て爾の至愛の子、我等の主イイスス・ハリストスの宝座（及び奉獻台）を包むに堪うる者と為るを致させ給え、
蓋凡の善き業と全き賜は皆爾上よりす、故に光榮を爾と爾の独生子と至聖至善にして生命を施す爾の神とに獻ず、今も何時も世世に。

第一祝文

主は王たり、彼は威嚴いげんを衣たり、主は能のうりょく力を衣、又之を帶おびにせり、故に世界は堅固けんごにして動かざらん。爾なんじの宝座は古いにしえより堅かたく立ち、爾なんじは世世の前より在せり。諸川聲よしよせんを騰あげ、主よ、諸川其聲そのこゑを騰あげ、諸川其波そのなみを騰あぐ。然れども主が最高まことに正ただし。主よ、聖德せいとくは爾の家に屬して永遠に至らん。於いて強きは、多くの水の聲に勝り、海の強き浪に勝れり。爾の啓示は誠に正ただし。主よ、聖德せいとくは爾の家に屬して永遠に至らん。光榮は父と子と聖神に帰す、今も何時も世世に、アミン。

アリルイヤ、アリルイヤ、アリルイヤ、神や光榮は爾に帰す。
(三次)

- 3 -

来たれ、ハリストス我等の王神に叩拜俯伏せん。
ハリストス我等の王と神の前に叩拜俯伏せん。

第二祝文

主よ、願わくは爾の耳を傾けて、我等當たらざる爾の諸僕の祈禱おうとうを聞き入れ、以て聖なる宝座及びハリストスの祭台そぞくだいに用いる為に備えられし此の蔽物おういのものを、萬事ばんじを聖にする爾の恩寵おんぢゆにて、聖水の灌そそがるるを以て祝福、成聖し給え。

詠
蓋我等の神よ、爾は凡の物を祝福、成聖する主なり、故に光榮を爾と爾の獨生子と至聖至善にして生命を施す爾の神しんとに獻ず、今も何時も世世に。
アミン。

司此の蔽物おういは、至聖なる聖神の恩寵と此の聖水の灌そそがるるを以て成聖せらる、父及び子及び聖神の名に依りてなり。(三次)アミン。(毎次応答する)

アミン。
(毎次応答する)

び子及び聖神の名に依りてなり。
(三次)

※（次いで司祭、聖にする祭品に聖水を灌ぎて曰く。）

司 詠 司 詠 司 詠
至聖なる生神女や、我等を救い給え。
ヘルワイムより尊くセラファイムに並びなく榮え、貞操を破らずして神言を生み
し、実の生神女たる爾を崇め讃む。
ハリストス神我等の侍や、光栄は爾に歸す、光栄は爾に歸す。
光栄は父と子と聖神に帰す、今も何時も世世に、アミン。主憐めよ（三次）。
福を降せ。
ハリストス我等の真の神は、その至淨なる母、克肖捧神なる吾が諸神父、亞使徒
日本の大主教聖ニコライ、及び諸聖人の祈祷に因りて、我等を憐み救わん、彼
は善にして人を愛する主なればなり。
アミン。

ハリストス我等の眞の神は、その至淨なる母、克肖捧神なる吾が諸神父、亞使徒日本の大主教聖ニコライ、及び諸聖人の祈祷に因りて、我等を憐み救わん、彼は善にして人を愛する主なればなり。